

(一社)全国木材組合連合会

① 判断基準への対応 (木材の物流の主な流れは別紙のとおり)

| 積載効率の向上 | 荷待ち時間の短縮 | 荷役等時間の短縮 |
|--|---|---|
| <p>＜第一種荷主＞</p> <ul style="list-style-type: none">既に適切なリードタイムの確保、生産状況に応じた運送事業者の手配により、高い積載率を維持。くわえて、以下の取組により積載効率の向上に努める。<ul style="list-style-type: none">丸太については、林道走行などの状況を踏まえ、必要に応じて中間土場を設置し、大型トラックの使用を可能とする。(第二種荷主も同様)木材製品については、複数の搬送先の貨物を合積み。 <p>＜第二種荷主＞</p> <ul style="list-style-type: none">第一種荷主からの出荷時期に関する相談等に対し、柔軟に対応。 | <p>＜第一種荷主＞</p> <ul style="list-style-type: none">複数車両の集荷時刻が重ならないよう配車時間を調整。荷役作業中の車両が集中して荷待ち時間が生じることがないよう、十分な荷役スペースを確保。(第二種荷主も同様) <p>＜第二種荷主＞</p> <ul style="list-style-type: none">基本的に受渡し時間の指定はされていない。受渡しの予定が分かった時点で、可能な範囲で他の受渡しと時刻が重ならないよう調整。 | <p>＜第一種荷主＞</p> <p>＜第二種荷主＞</p> <ul style="list-style-type: none">既に重機による積卸しや荷役作業員の適切な配置、荷捌き場の確保、により荷役時間を短縮。くわえて、以下の取組により荷役時間の短縮に努める。<ul style="list-style-type: none">出荷先や、出荷時の荷姿を想定して木材を配置。安全で効率的な積み卸しが可能となるように木材の置き方を工夫。積卸し場所の位置や木材の規格等の情報を事前に運送事業者へ提供。丸太の計測は、自動選別機(丸太の寸法等を自動計測する機械)を活用。 |

② 特定荷主に係る対応の予定

| 重量算定について | 時間計測 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">運搬契約の単位が複数あるので契約の状況に応じて換算し、その合計を総重量とすることを検討(重量以外で契約しているものは以下の算定方法等を用いるなど、合理的な方法により算定することを検討)<ul style="list-style-type: none">材積で契約しているものについては容積から1立方メートル280kgでの換算をベース。トラック1台当たりで契約しているものについては最大積載量での換算をベース。 | <ul style="list-style-type: none">多くの伐採現場や木材市場(丸太及び製品)、木材加工工場において、荷待ち時間は発生していないと認識。荷待ち時間が生じている一部の工場等については、受付簿等による荷待ち時間等の把握を検討。なお、丸太の運搬に関しては、重量物かつ長大でグラップルクレーンでの吊り上げ等により積卸しする必要があり、荷役時間を短縮することは、技術革新がない限り難しいため、報告の省略対象となると考える。 |

木材の物流の主な流れ

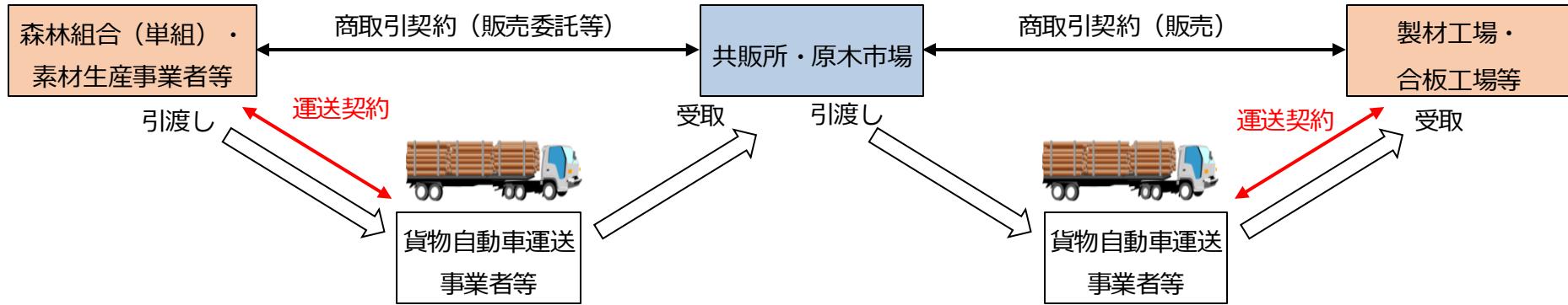
➡ : 物流

↔ : 契約関係

■ : 第一種荷主

■ : 第二種荷主

【例1：原木市場等を利用するパターン（市場等を利用する者が運送事業者と契約）】



【例2：工場直送パターン（納入事業者が運送事業者と契約）】

